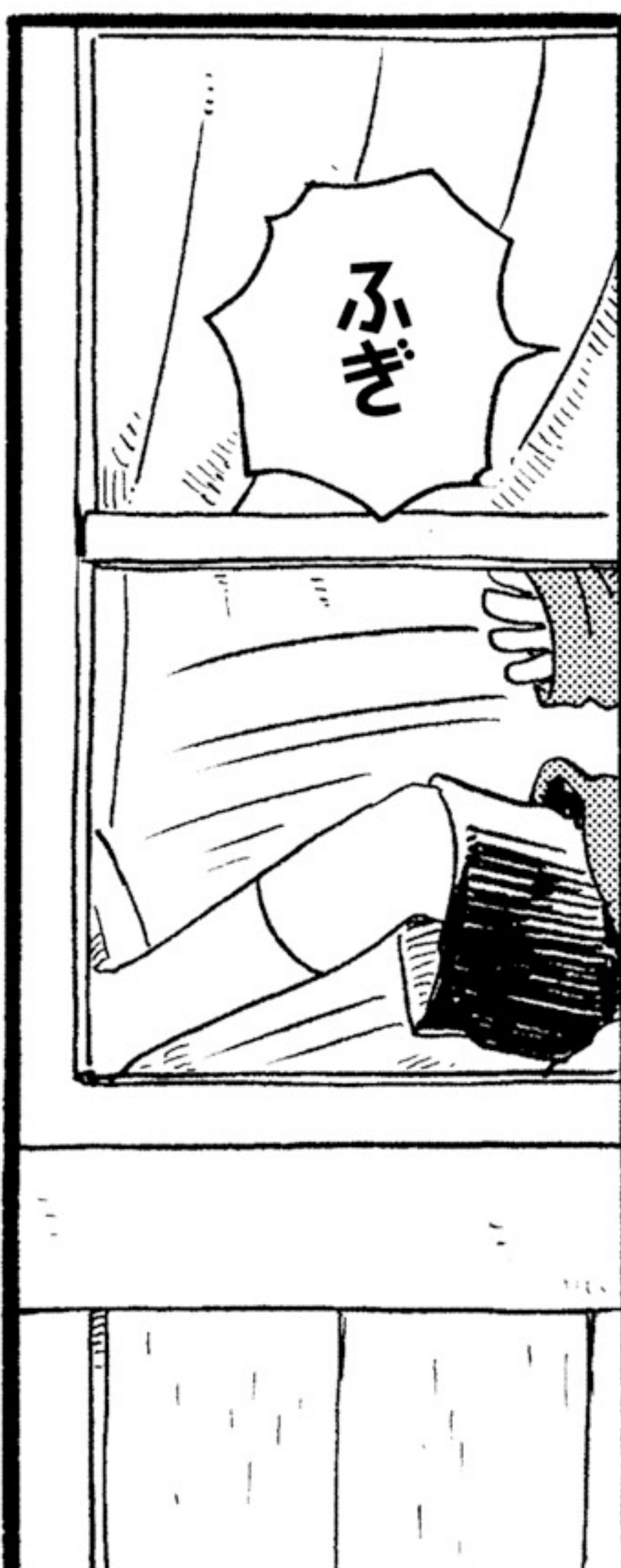
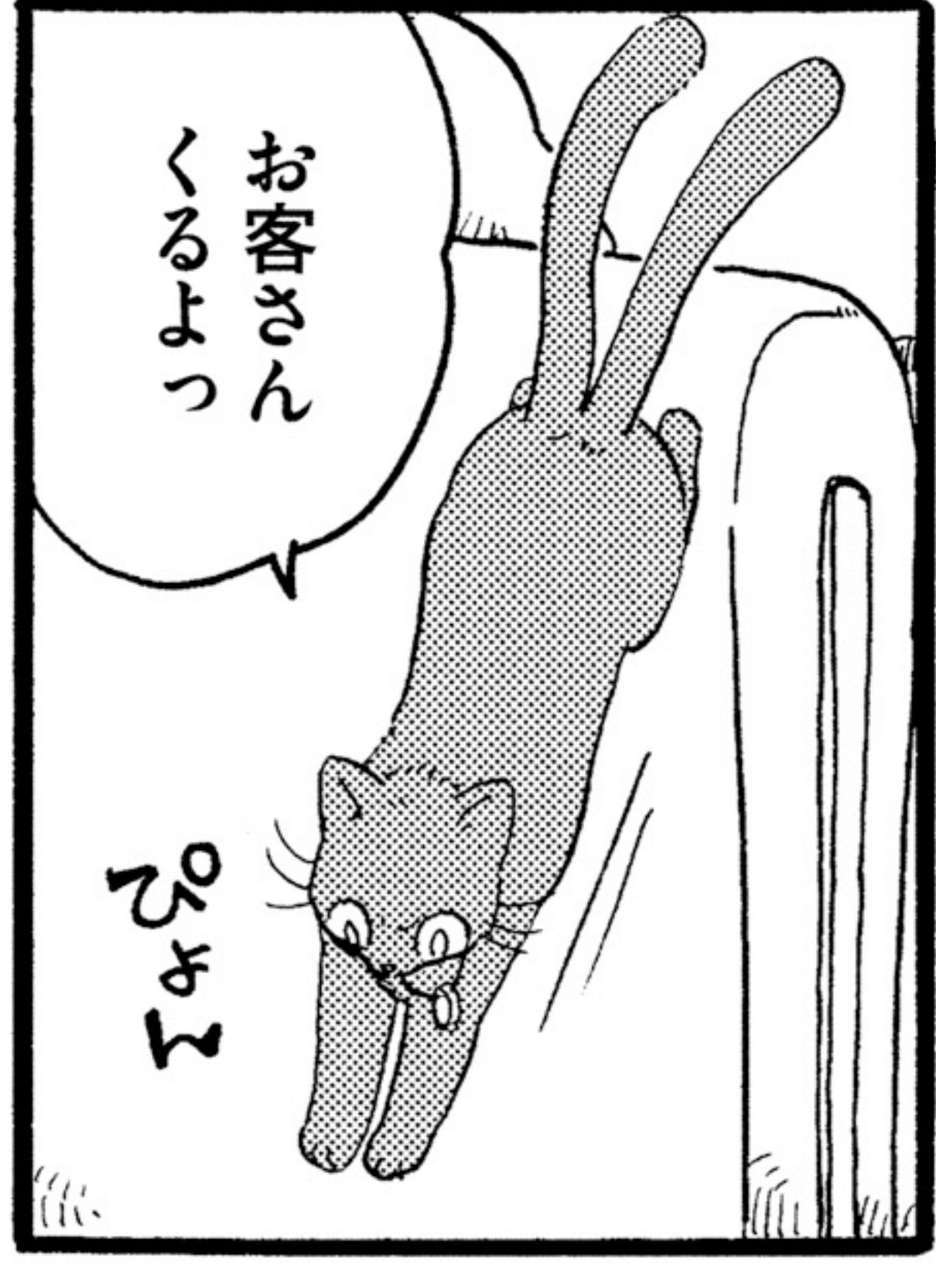
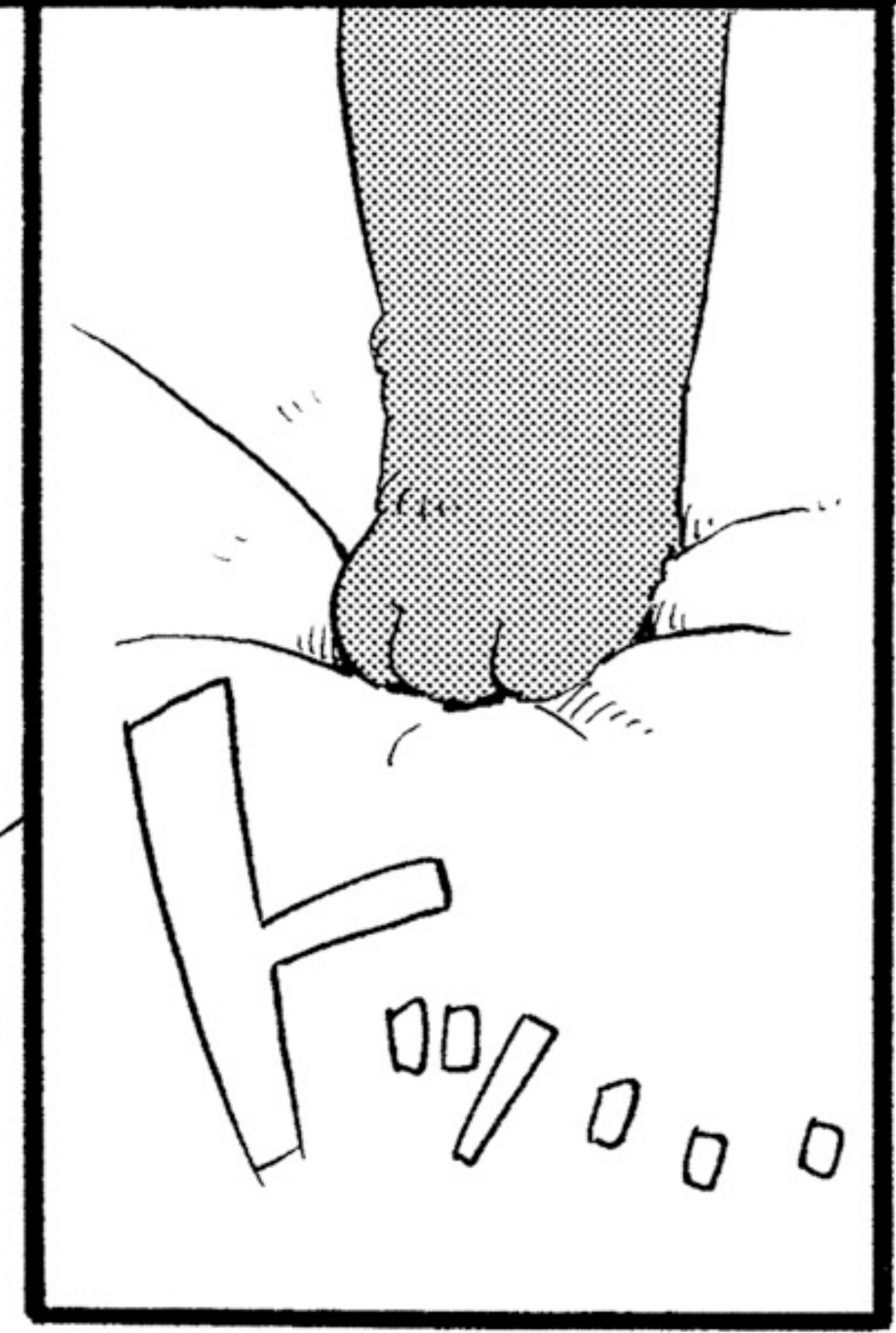
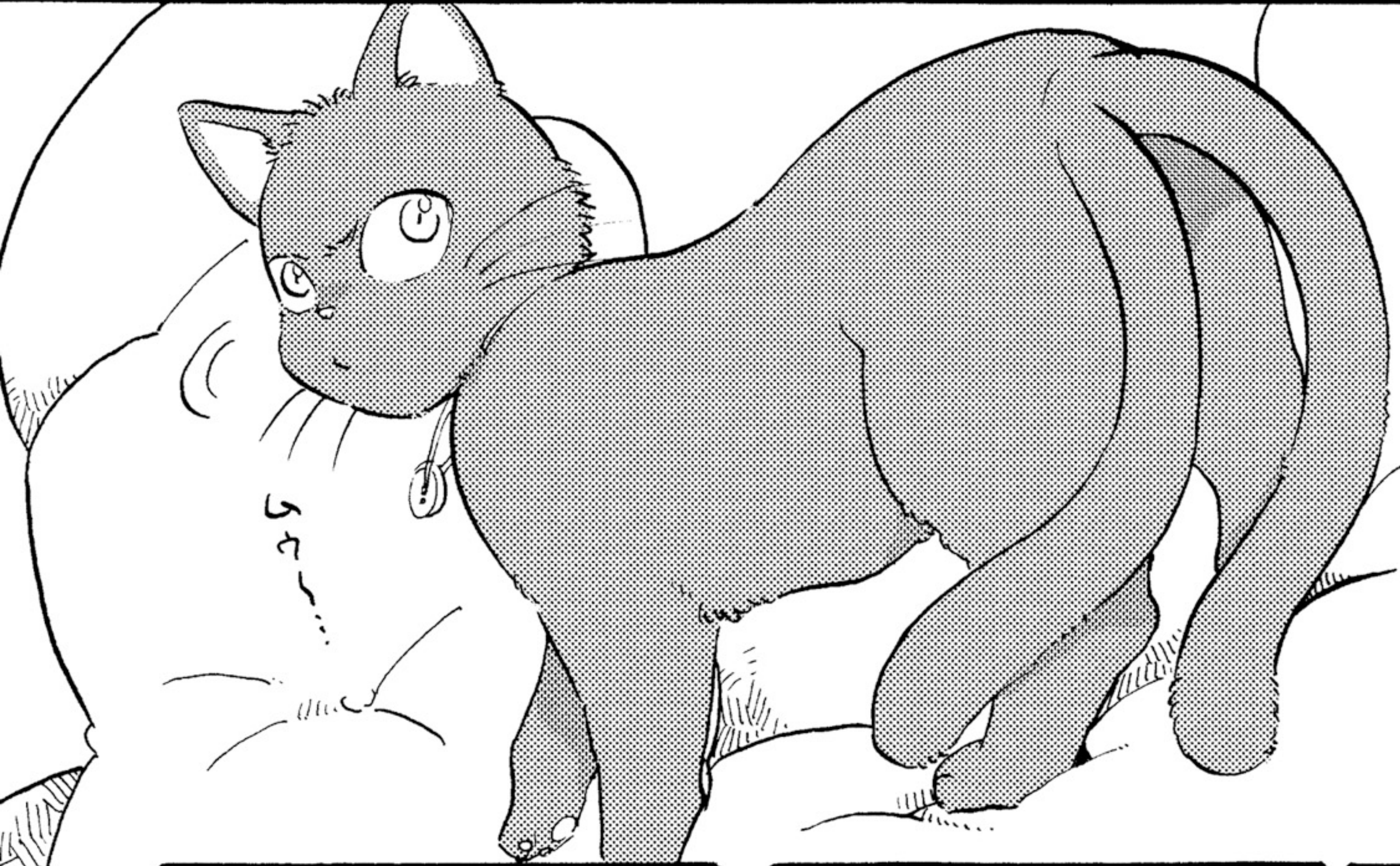


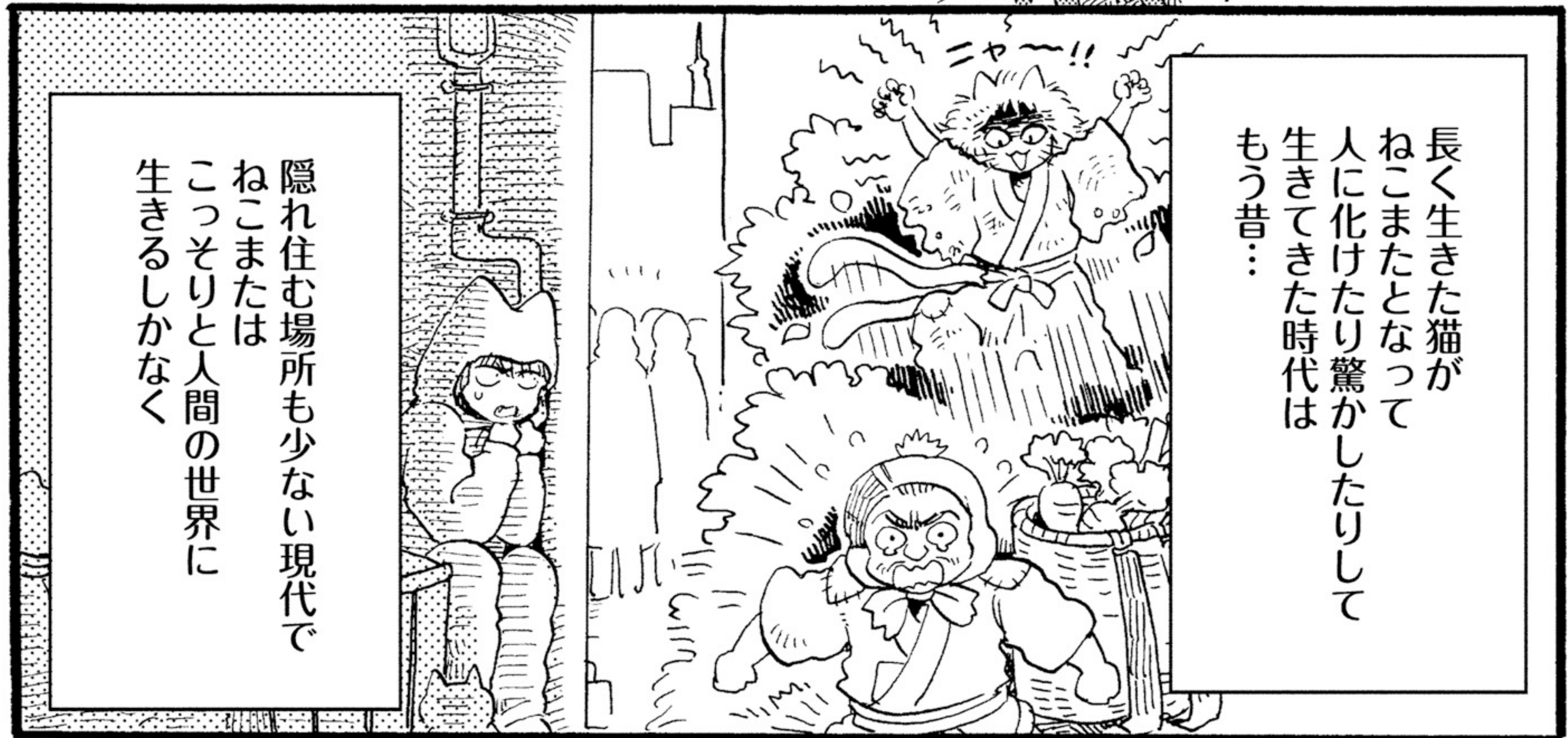
繁華街を抜けた  
静かな路地に：

ひっそりと  
そのカフェはあります

1話



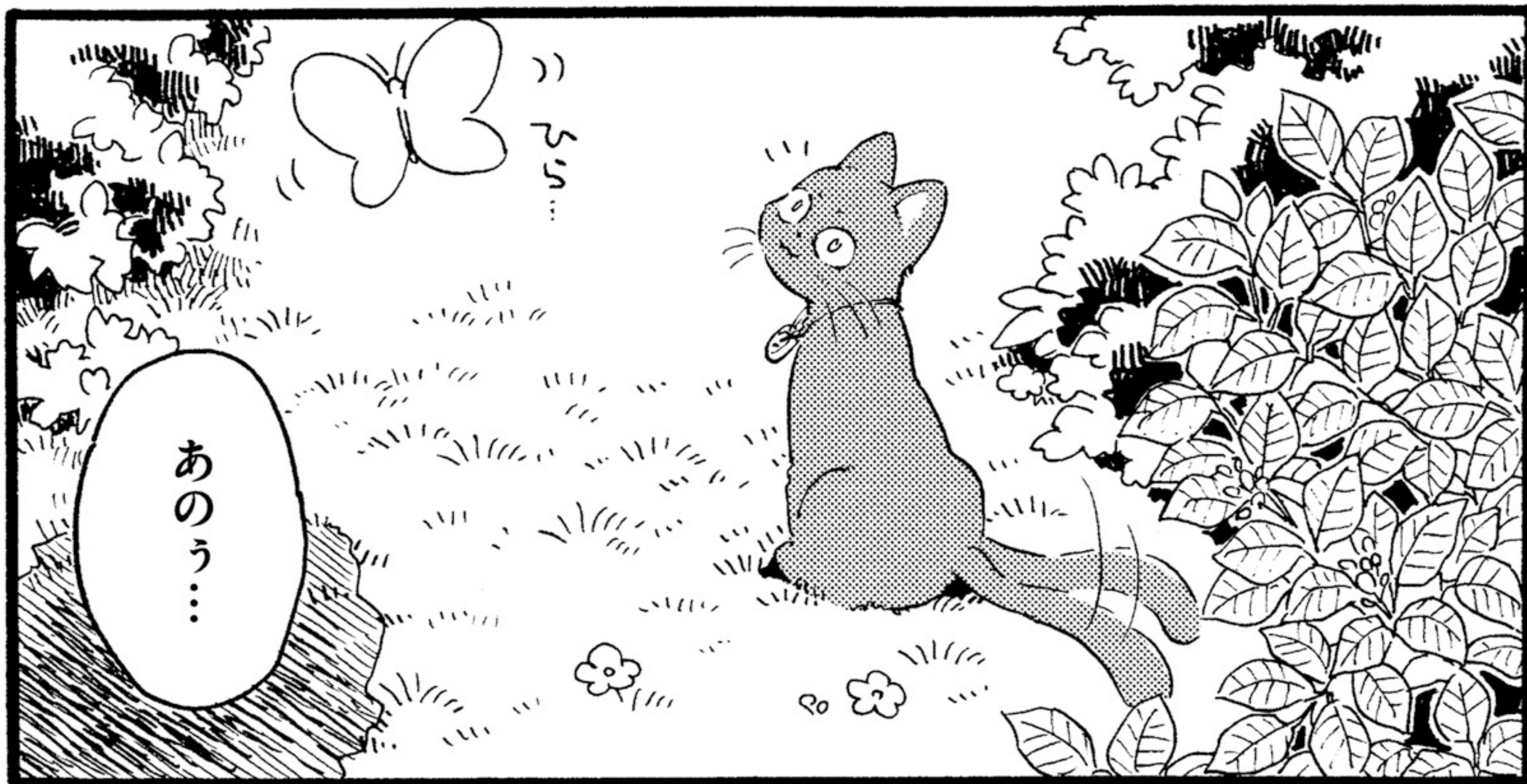






さあどうぞ  
店内へ

ゆっくりしてらって  
ください





お客様  
さん!!!



マスター!!

あ〜?

今忙しいんだ  
あとあと



ひょい

どうも  
どうも

マスターさん  
…ですか!?

あの「どうも」のカフェは  
ねごまたに仕事を  
紹介してくれるって  
聞いて



オレ働き  
たいんです

履歴書

ハイッ

経歴  
田舎から出てきた  
ばかりで特になし

特技  
速く走れる…

体力には  
めちやくちや自信  
あります!!

ほんとに  
速いの!?

ヤバイッス

あのなあ  
たしかにここは  
ねこまたに仕事を  
あっせん  
幹旋してるけどな

今働きたい  
ねこまたってのは  
けっこういるんだ

こんな  
履歴書じゃ  
どこも紹介  
できないな

そこを  
なんとか…

ねえ

なんか  
あるでしょ

足、速いんだよ?

